

— 第 42 回 夏季私学経営者特別講座 —

大学淘汰時代の私学経営のあり方

■ 日 時

2019年7月25日(木)

13:00 ~ 16:15 受付 午後12時より

■ 講 師 ご出講順

木宮 健二 氏

学校法人常葉大学
理事長

■ 会 場 【定員：100名】

東京ガーデンパレス

東京都文京区湯島1-7-5 TEL.(03)3813-6211

坂東 眞理子 氏

学校法人昭和女子大学
理事長・総長

本セミナーの概要

18歳人口の新たな減少問題に加え、グローバル化や技術革新といった社会変革に沿うべく導入される大学入試改革など、私学にとってはまさに経営の正念場を迎えようとしています。大学淘汰の時代を迎え、これまで以上に学生募集の停止や閉校が相次ぐとの声が高まる中、大学は生き残りをかけて教育・研究や地域貢献、さらにはガバナンス改革など様々な施策を展開し、その存在意義を示していかなければなりません。

そこで本講座では、私学理事者を対象として、これからの学園の将来の方向性をお考え頂く手がかりとして、各講師よりそれぞれのお立場からご講演頂くことと致しました。学園運営の視野を広げる有意義な場として理事者の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げます。

申 込 要 領

- 参加料 会 員 10,800円(資料代、消費税含む)
非会員 18,900円(")

一旦お納めいただきました参加料は、原則として返金いたしかねますので、代わりの方がご出席下さい。

★ この機会にご入会の方は、本セミナー1名無料とさせていただきます。

- 申込方法 ① 本会ホームページの「セミナー申込フォーム」又はEメール (skkseminar@sikeiken.or.jp)
② FAX (下記申込書にご記入の上、(06)6321-3207へお送り下さい。)

お申込み後、参加証と請求書をお送りいたします。送金は、銀行振込にてお願いします。

領収証をご希望される場合は下記までお申し出下さい。(※当日までにお振込み下さいますようお願い申し上げます。)

- お問い合わせ TEL.(06)6321-2666 公益社団法人私学経営研究会〈担当：黒川・辻・広瀬〉

私経研特別セミナー(2019.7.25)申込書 FAX:(06)6321-3207		お申し込みはホームページからどうぞ セミナー最新情報もご覧いただけます		http://sikeiken.or.jp/ 私学経営研究会 検索	
学園名			会 員 ・ 非 会 員		
所在地 〒			参加証と請求書の送付方法 (いずれかに)		
TEL.			Email (PDF) 郵 送		
No.	役 職 名	ご 氏 名		参 加 料	
参 加 者				名分	
				円	
				振込予定日 月 日	

申込書に記載された役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収証等の発送のために使用します。

13:00 ~ 14:30 P.M.

講師 木宮 健二 氏

地域における私大の生き残り戦略 ～大学統合とキャンパス移転～

1. 大学の地域市場構造
 - (1) 学園の沿革
 - (2) 法人の規模
 - (3) 静岡県の位置と経済
2. 大学統合
 - (1) 統合までの歩み
 - (2) 大学統合のスキーム
 - (3) 統合後の大学改革
3. 大学統合の成果
 - (1) 志願者、入学者の増加
 - (2) 教員の意識改革
 - (3) 就職の構造的変化
 - (4) 財務構造の変化
4. 常葉大学静岡草薙キャンパス開設

14:45 ~ 16:15

講師 坂東 眞理子 氏

大学淘汰時代の私学経営の在り方

1. 私立女子大の苦境
偏差値低下、文学系・短大の衰退
2. 社会における女性の役割の変化
良妻賢母からキャリア設計
3. 昭和女子大学の伝統
創立100周年 創設者の思い、校訓三則
4. 昭和女子大学の改革の歴史
ボストンキャンパス、上海交通大学(協定校)、アジア女性リーダー、人見記念講堂、東明学林、望秀学寮、会津キャンパス村、緑声舎、クラス担任、ドレスコード、アルバイト制限、生活科学部、人間文化学部、人間社会学部、外部理事、情報公開
5. グローバル教育の推進(昭和女子大学の例)
ボストンプログラムの充実、国際学科の設置、協定校の開拓、BST誘致、上海交通大学ダブルデGREE国際学部
6. 昭和女子大学のキャリア支援
キャリア支援部・キャリア支援センターを設置
インターンシップ開拓、社会人メンター、プロジェクト活動、8年連続就職率日本一
7. 昭和女子大学の新分野へのチャレンジ
グローバルビジネス学部の設置、現代ビジネス研究所(社会人研究員)、プロジェクト活動、テンプル大学ジャパンキャンパスの誘致

講師紹介

木宮 健二 氏

1950年生まれ。1973年京都大学農学部農林経済学科卒業。同大学大学院を経て1979年静岡大学農学部助手、1984年農学博士、助教授、1992年静岡大学農学部教授、2002年学校法人常葉学園(現常葉大学)理事長に就任、現在に至る。2013年常葉大学短期大学部学長を併任、現在に至る。

その他、静岡県私学協会理事、日本放送協会中部地方放送番組審議会委員(～2012年3月)、静岡第一テレビ番組審議会委員長、静岡県病院協会理事、日本農業賞静岡県代表審査委員長、文部科学省大学設置・学校法人審議会委員、日本私立大学協会常務理事。

坂東 眞理子 氏

1969年東京大学卒業、総理府入省。青少年対策本部、婦人問題担当室、老人対策室、内閣総理大臣官房参事官、統計局消費統計課長などを経て男女共同参画室長。1995年～1998年埼玉県副知事、1998年～2000年ブリスベン総領事、2001年～2003年内閣府男女共同参画局長。2004年昭和女子大学大学院教授、女性文化研究所長、現在に至る。2007年昭和女子大学学長、2014年学校法人昭和女子大学理事長、現在に至る。2016年昭和女子大学総長、現在に至る。

「女性の品格」「日本の女性政策」「日本人の美質」「70歳のたしなみ」「60歳からしておきたいこと」「ソーシャル・ウーマン」「女性の知性の磨き方」「女性リーダー4.0」「言い訳している場合か! - 脱・もう遅いかも症候群」など著書多数。